

オプジーボ®療法 抗PD-1抗体薬

	Day1	8	15	21
生理食塩液50mL プライミング	↓			
生理食塩液100mL + オプジーボ® 240mg(固定用量) 30分点滴静注	↓			
生理食塩液50mL フラッシュ	↓			

1サイクル14日

適応: がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の胃癌

根治切除不能又は転移性の腎細胞癌

・・・他、適応まだあり

※基本的に初回投与は入院して施行、2回目より外来へ移行

オプジーボ®の副作用(irAE)

- ・間質性肺疾患 ・肝機能障害、肝炎 ・大腸炎、重度の下痢 ・1型糖尿病 ・甲状腺機能障害
- ・副腎障害 ・下垂体機能障害 ・脳炎 ・神経障害 ・重症筋無力症 ・膵炎
- ・重度の皮膚障害 ・腎障害 ・筋炎、横紋筋融解症 ・心筋炎 ・血球貪食症候群
- ・infusion reaction ・重症筋無力症 ・静脈血栓塞栓症 ・結核 ・重篤な血液障害

- 殺細胞性抗がん薬に比べ重篤な有害事象の発現頻度は低いですが、時に心筋炎等致命的となることもある。
- 様々な時期にirAEが発現しており、現状では発現時期の予測は困難。
- irAE発現時はステロイドで対応する。(下痢の時も安易にロペラミド内服は勧めない)